

フォーラム・セミナー報告

第6回FDフォーラム

「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」
最終成果報告会を開催しました

日時：2012年1月28日(土) 13:00～17:30
場所：千里山キャンパス第1学舎 E403教室



「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」
最終成果報告の様子

2012年1月28日に、CTLが運営してきたGP「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」の最終成果報告会を三部構成で開催しました。

第一部では、取り組みを通じて得られた成果と残された課題が何であり、今後どのように事業を展開してゆくのか、これらを軸に積み重ねてきた実践知を織り交ぜながら報告を行いました。なかでも報告の中心となるLAの業務の分析や活動の軌跡については、実際にLAの育成や支援にあたった三人のAS (Advisory Staff) が、それぞれの担当業務について報告しました。これは、その仕事内容がなかなか見えにくい支援業務に与るスタッフたちの健闘ぶりについて、さらには、取り組みの実施・運営においてはそうした支援業務こそが本質的に重要であることに

ついて、あらためてご理解を得られればと願うことです。

続く第二部では学外から有識者をお招きして、それぞれ短時間ではありましたが、ご講演を頂きました。富山大学の橋本勝氏には「学生と授業を楽しむコツ」、同志社大学の山田礼子氏には「初年次教育とアクティブ・ラーニング」、京都大学の溝上慎一氏には「この一年のアクティブラーニングへの取り組み・展開を振り返って」という演目で、私達の取り組みの今までを振り返り、今後を展望するに当たって貴重なお話を拝聴することができました。

その後の第三部では「アクティブ・ラーニング入門一歩前」というタイトルの下でパネルディスカッションが執り行われました。第一部ならびに第二部の内容についてフロアから寄せられた質問に時間の許す限り丁寧にお応えした後、LAとLA候補生を交え、こちらも短時間ではありましたが、ディスカッションを執り行いました。アクティブ・ラーニングの現場からの生の声を少しでもお届けできたのではないかと思います。「アクティブ・ラーニング」は端的に言って日本ではまだまだ未成熟な分野です。学生をアクティブにするために試みることのできる手段や手法を発掘してゆくには、入念な準備

はもちろん、時にかならずとも効率的とは言えないtrial and errorの繰り返しが必要になります。そうした不断の探求、彷徨、模索をとまぬ取り組みだからこそ、多くの方々の協力と、スタッフの献身的なサポートとフォローを欠かすことはできません。本取り組みが「三者協働」を謳ってきたのも、翻って考えてみるならばそうしたアクティブ・ラーニングの本質を直観的に捉えていたからこそなのかも知れません。さて、本取り組みはGPとしては今年度で終了いたしますが、LAの育成・活用を通じたアクティブ・ラーニングの展開そのものは、CTLとして今後も継続していくこととなっています。今後とも、かわらぬご協力を賜れば幸いです。

(教育推進部 三浦真琴・須長一幸)



第三部では橋本氏、山田氏、溝上氏に加え、本学教職員やLA、LA候補生も登壇した

当日のプログラム

13:00～13:10	開会挨拶 市原 靖久 (副学長・法学部 教授)
13:10～13:55	第一部「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」その成果 須長 一幸 (教育推進部 准教授) 遠海 友紀・齊尾 恭子・今岡 義明 (アドバイザリースタッフ)
14:10～15:40	第二部「識者・先駆者に聴く」 橋本 勝氏 (富山大学 教授) 「学生と授業を楽しむコツ」 山田 礼子氏 (同志社大学 教授) 「初年次教育とアクティブ・ラーニング」 溝上 慎一氏 (京都大学 准教授) 「この一年のアクティブラーニングへの取り組み・展開を振り返って」
15:55～17:25	第三部「アクティブ・ラーニング入門一歩前」 橋本 勝氏・山田 礼子氏・溝上 慎一氏 三浦 真琴 (教育推進部 教授)・岩崎 千晶 (教育推進部 助教) 竹中 喜一 (授業支援グループ職員) 嶋本 美幸・樽谷 直樹・宮元 綾子 (ラーニングアシスタント) 中村 文豪 (ラーニングアシスタント候補生)
17:25～17:30	閉会挨拶 田中 俊也 (CTL長)